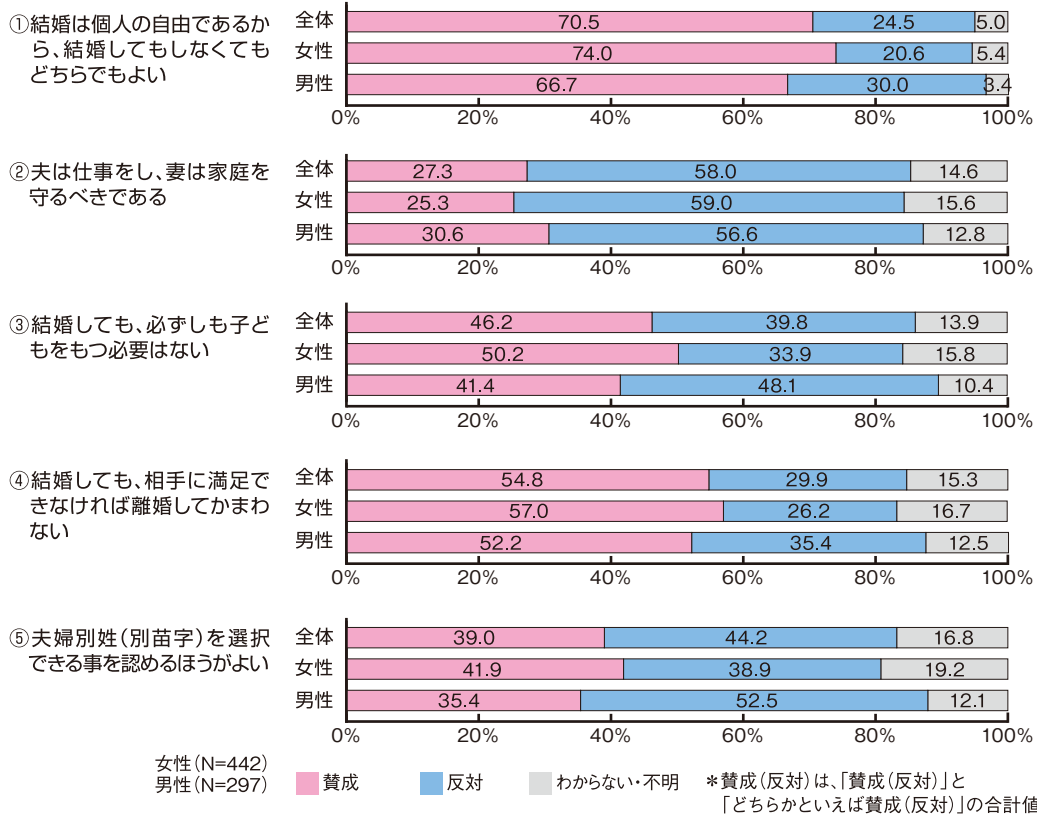


## 結婚・家庭生活について

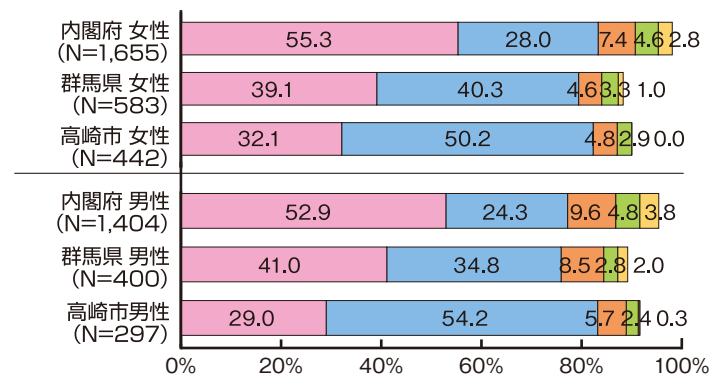
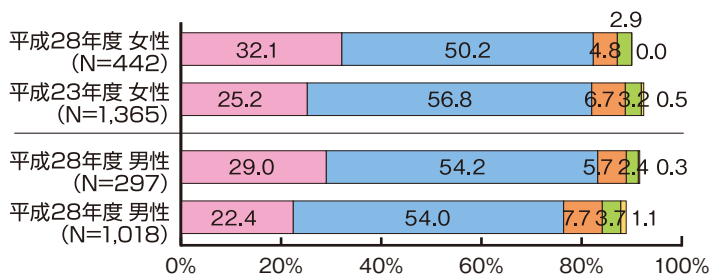
●結婚・家庭生活に関する以下の考え方についてどう思いますか。



▲「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」は、男女とも「賛成\*」が高くなっています。一方、「②夫は仕事をし、妻は家庭を守るべきである」は「反対\*」が高くなっており、「③結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない」や「⑤夫婦別姓を選択できる事を認めるほうがよい」は男女で賛否が分かれています。

## 女性の就労について

●一般的に女性が仕事を続けることについて、どのように考えますか。



結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるのがよい  
 子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をするほうがよい  
 子どもができるまでは、仕事を続けるのがよい  
 結婚するまでは、仕事を続けるのがよい  
 女性は仕事に就かないほうがよい



男女とも「子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」が最も高くなっており、群馬県や内閣府の調査と比べると、考え方に違いがみられます。

また、前回調査と比較すると、「結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるのがよい」は、男女とも増加しています。

\*「高崎市(平成28年度)」の選択肢「わからない」「群馬県」「内閣府」の選択肢「その他」「わからない」は表示しない  
 \*「群馬県」男女共同参画社会に関する県民意識調査(群馬県・平成26年度)  
 \*「内閣府」男女共同参画社会に関する世論調査(内閣府・平成28年度)